



2025

第64回関東甲信越静地区
造形教育研究大会

山梨大会

日時:2025年11月15日(土)12:30(11:00~受付開始)

会場:甲府市立南中学校

主 催:関東甲信越静地区造形教育連合

山梨県造形教育連合

後 援:文部科学省 山梨県教育委員会

甲府市教育委員会

山梨県公立小中学校長会

参加費:1,000 円

テーマ

未来をひらく**原動力**=**アート**の力～ “**発見**”と“**感動**”のある授業づくりを通して～

図画工作・美術は、一人一人が感性を豊かに働かせ、問い(主題・課題)を持ち、その解決に向け様々な知識や技能を総動員して自分の最適解を創造していく教科です。発想し創造したものは、見る人に感動を与えます。一人一人の違いを大切に、時にそれらが融合することで新たな価値の創造につながっていきます。まさにこれが予測困難(VUCA)な時代に必要な「生きる力」であり、その**原動力**こそが「**アート**の力」であると考えます。この「**アート**の力」を培うためにキーワードとなるのが、子供たちの中に見られる「**発見**」と「**感動**」であり、これらを一人一人の子供たちにどのように導き味合わせるのかを考え、授業を創造していきたいと考えます。

形
や色
イメージ
...Find
Inspiration
Discovery
Impression
...

「甲州ぶどう」は、
山梨県で発見され
た 800 年以上もの
長い歴史があるぶ
どうです。このぶ
どうを秋空の日差し
に透かして見ると、乱
反射し乳白色に輝く
ブルーム(果粒)と赤
紫色とも桃色とも思
える果皮とが相俟つ
て何ともいえない色合い
を醸し出しています。

将来の
予測が困難(VUCA)
な時代を前に、自らの人
生をどのようにひらき、自ら
の生涯を生き抜く力を培っていくか、そして健康的で幸福な人生や社会のウェルビーイングに向け、新しい時代を生きる子供たちに、学校教育は、造形美術教育はどうあるべきか、このような疑問のもとに本テーマを設定しました。前回山梨大会のテーマ「造形 100 年教育」の人生 100 年の視点に立った造形美術教育の在り方にも思いを巡らし、「アート」の力を考えたいと思います。

私たちの身の
回りには、普段意識に
上らないものやことがたくさん
ありますが、見方や捉え方をか
えてみると新たな発見をすることが
できます。そしてそのことに気づ
いたとき、心が揺れ動かされる
瞬間を感じることがあります。こ
れは発見が組み合わせられ新た
なイノベーションを生み出す
プロセスの根幹に通ず
るものであると思
います。

Sciety5.0
持続可能な社会
ウェルビーイング
STEAM 教育
個別最適な学び
協働的な学び
主体的・対話的で深い学び
デジタル・グリーン(脱炭素)
グローバル



- ◆アートの力を培うために、学びの実感につながる視点
図画工作科・美術科の学習が
- ・生活を明るく豊かにしたり、心が豊かになったりする
 - ・美術や美術文化に豊かに関わることができる
 - ・普段の生活や社会の中で生かされたり役立ったりする

VUCAの時代

The POWER of ART to Open up the FUTURE

●大会日程 *都県代表者会議等は11月10(月)にオンライン開催

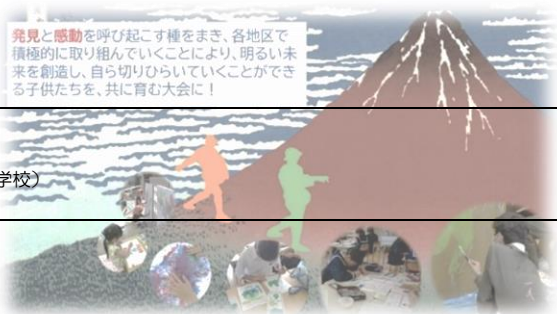
11:00 12:00 12:30 13:00 14:00 15:00 16:00 16:30 17:00 17:15

日 程	受 付		校種別分科会	調査官による講話
	体育館	・企業ブース ・県立美術館での児童 によるギャラリートーク実践映像 等		

●校園種別分科会

校園種	テーマ・内容		
	○“発見”と“感動”の現れが発達段階で、話題も焦点化しやすいよう、校種・領域別に全7分科会で構成する。 ○各分科会は、山梨県と各都県の提案を中心に討議を行う。		
【幼稚園・保育園】 (感じる・楽しむ・気づく) ①	ワクワク! ・手や体全体を働かせた造形活動～「出会い関わる」を楽しむ、「感じ考える」を楽しむから育つもの～ 子供たちの身近な環境や生活の中には、心を動かすものやことがたくさんあります。様々な形、色、手触り、動き、音に出会い、それらに気づいたり、感じたり、触れたりして楽しむことを通して、造形活動は始まっていきます。子供たちが、手や体全体を働かせ、ワクワクしながら表現していく造形活動の「意味」や「役割」について、共に考えていきたいと思います。		
	総括助言者 安藤 聖子(元 白百合女子大学教授) アドバイザー(助言) 伊藤 美輝(元 山梨学院短期大学教授)		
	山梨	発表：岩田乃江留(いづみ幼稚園) 山田由美子(南西保育園) 深堀 香(岩崎保育園) 天野 未希(いづみ幼稚園) 河西 藍(南西保育園) 日原愛咲美(岩崎保育園) 3歳児・5歳児 0～2歳児 3歳児・5歳児 司会：石野公之輔(岩田学園) 記録：天野未希(いづみ幼稚園) 加藤 凜(南西保育園) ファシリテーター：窪田 真敏(甲府市立北東中学校)	
【小学校】 (広げる・見つける・楽しむ) ②	ドキドキ! ・自分の感覚を通して感性を働かせ、思いを大切にしたり見たりする造形活動 砂場で夢中になって山やトンネルをつくったり、絵の具が水に溶ける様子を目を輝かせて見つめたり、図工の時間にはいつも心をとめかかせている子供たちがいます。「わあ!先生、見て、見て!」と歓声を上げる先には、その子供にとっての大きな「発見」や「感動」があります。「発見」と「感動」の間には、どうしたらいいのかという「問い」も生まれ、子供たちはそれを解決しようと奮闘し、また新たな「発見」に出会います。そんな幾つもの「発見」や「感動」に立ち会えるのも図工の時間の醍醐味といえるでしょう。子供たちが自分の感覚を通して感性を存分に働かせ、「発見」や「感動」に心をとめかせながら進めていく造形活動を、どのようにつくっていくことができるのか、また、6年間という小学校の長い年月の中で、「発見」と「感動」がどのように変化し、中学校へとつながっていくのかも探っていきたいと思います。		
	表現(造形遊びをする活動) 総括助言者 岡田 京子(東京家政大学教授)		
	山梨	発表：秋山 萌(甲府市立甲運小学校) 司会：田所 良通(南アルプス市立八田中学校) 記録：浅川 和子(南アルプス市立櫛形中学校) 助言：塚原 英樹(南アルプス市立若草中学校)	
	千葉	発表：桑原小百合(千葉市立生浜東小学校) 司会：寺井 智史(千葉市立作新小学校) 記録：毛利麻衣子(千葉市立磯辺小学校) 助言：平澤 典之(千葉市立幸町小学校)	
	茨城	発表：堀江 陽子(水戸市立河和田小学校) 司会：鈴木 武蔵(小美玉市立小川北義務教育学校) 記録：住谷 浩(水戸市立内原小学校) 助言：堀江 昌代(水戸市立石川小学校)	
③	表現(絵や立体、工作に表す活動) 総括助言者 西村 徳行(東京学芸大学教授)		
	山梨	発表：市川 安紀(甲州市立塩山北小学校) 司会：岡田あさみ(笛吹市立御坂中学校) 記録：青木可奈子(甲州市立奥野田小学校) 助言：三枝 清美(山梨市立日下部小学校)	
	埼玉	発表：坂藤 頌一(神川町立丹荘小学校) 司会：小林 玲子(美里町立大沢小学校) 記録：吉原 彩乃(美里町立松久小学校) 助言：大谷 裕紀(熊谷市立妻沼西小学校)	
	神奈川	発表：山中 紗恵(川崎市立虹ヶ丘小学校) 司会：鈴木 貴久(川崎市立新城小学校) 記録：能登 啓允(川崎市立高津小学校) 助言：緑川 葉子(川崎市立大谷戸小学校)	

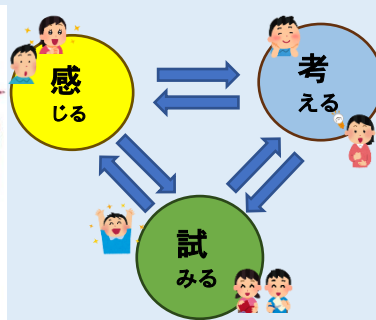
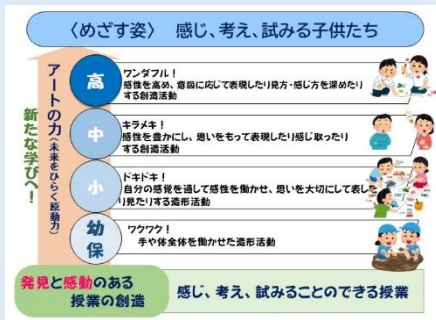
造形美術教育は、生きる力の中心となる想像力・表現力を最も育成できる教育です。創造・表現する力の育成には、図画工作科・美術科の毎時間の授業において、子供たちが「発見」と「感動」のある場面設定が不可欠であると考えます。幼・小・中・高の校種の全ての教師が、図画工作・美術教育の素晴らしい力、**アートの力**を改めて実感する機会としたいと思います。

校園種	テーマ・内容	
【小学校】 (広げる・見つける・楽しむ) ④	鑑賞 総括助言者 奥村 高明(元 日本体育大学教授)	
	山梨	発表：加賀美信行(山梨大学教育学部附属小学校) 司会：三枝 陽(甲府市立池田小学校) 記録：井澤映里子(甲府市甲運小学校) 助言：鷹野 晃(北杜市立長坂中学校)
	長野	発表：久田ひかり(岡谷市立川岸小学校) 司会：長崎 至宏(長野市立古里小学校) 記録：青木 香織(長野市立川中島中学校) 助言：柄澤 武志(南箕輪村立南部小学校)
	静岡	発表：柳内 志穂(藤枝市立朝比奈第一小学校) 司会：白井佳代子(島田市立金谷中学校) 記録：黒田 有美(藤枝市立岡部小学校) 助言：八木 千景(藤枝市立葉梨中学校)
【中学校】 (深める・見つめる・味わう) ⑤	キラメキ！ ・感性を豊かにし、思いをもって表現したり感じ取ったりする創造活動 中学校の美術の時間には、どのような「発見」と「感動」が起こるのでしょうか。感動が巻き起こる場面もあるでしょうが、ゆっくりじっくりと自己の表現に向き合いながら、何かを発見する瞬間や、心の中にじんわりと感動を生む場面もあり、様々な「発見」と「感動」の現れ方が想像されます。感性を豊かにして、たくさんの「発見」と「感動」に出会い、創造活動の喜びを味わう、そんな授業について、語り合いたいと思います。	
	表現 総括助言者 新野 貴則(山梨大学教授)	
	山梨	発表：百瀬 淳一(大月市立大月東中学校) 司会：佐々木葵泉(富士吉田市立吉田中学校) 記録：上田 美雨(富士吉田市立明見中学校) 助言：中島 博美(甲府市立北中学校)
	東京	発表：小林 奈央(国分寺市立第一中学校) 司会：高澤健太郎(江東区立辰巳中学校) 記録：橋川 小夜(中野区立中野東中学校) 助言：松永かおり(世田谷区立玉川中学校)
	新潟	発表：丸山 広大(新潟大学附属新潟中学校) 司会：田代 豪(新潟市立巻南小学校) 記録：山際 保男(新潟市立東石山中学校) 助言：渡邊 敏尚(新潟市立金津小学校)
		
⑥	鑑賞 総括助言者 三澤 一実(武蔵野美術大学教授)	
	山梨	発表：秋山 菜穂(韮崎市立韮崎東中学校) 司会：奥秋 由香(北杜市立高根中学校) 記録：川手絵里子(北杜市立長坂小学校) 助言：鷹野 敦貴(山梨県教育庁義務教育課)
	群馬	発表：藤島 奈未(太田市立尾島中学校) 司会：大島 浩二(館林市立第五小学校) 記録：多胡 慎平(群馬大学共同教育学部附属中学校) 助言：豊岡 大画(太田市立城東中学校)
	栃木	発表：木下 大輝(宇都宮市立若松原中学校) 司会：原 加代子(宇都宮市立横川中学校) 記録：大野 裕美(宇都宮市立陽南中学校) 助言：柴 栄(栃木県教育委員会)
		
【高等学校】 (深める・見わたす・味わう) ⑦	ワンダフル！ ・感性を高め、意図に応じて表現したり見方・感じ方を深めたりする創造活動 生徒が、中学校までに体験してきた美術の学びの中には、きっとたくさんの「発見」と「感動」があったことでしょう。それらの経験は、生徒たちの感覚を通して感性を豊かに育み、学びの原動力となって、新たな学びへと誘ってくれるでしょう。では、高等学校では、どんな「発見」や「感動」が求められるのでしょうか。山梨では、最終的な子供の姿を「ものやことに気づき、面白いな・美しいと感じ、考えることを楽しみ、挑み試みるのできる子供」と捉えています。柔軟で多様な視点を持ち、楽しみながら創造的に探求していく力を育むために、生徒たちが、「発見」と「感動」を基に、感性を高めながら、自分の思いをもって追求していく、そんな創造活動について、皆さんと考えていきたいと思っています。	
	国際バカロレアを中心とした実践提案 総括助言者 神野 真吾(千葉大学准教授)	
	山梨	発表：天野 圭(山梨県立甲府西高等学校) 司会：山本 裕子(山梨県立甲府東高等学校) 記録：風間功仁子(山梨県立白根高等学校) ファシリテーター：小田切 武(身延町立身延中学校) 協力：(山梨県立美術館職員)

●オンデマンド(大会前)

開 会 式 実行委員長挨拶

基調提案



「発見」と「感動」のある授業は、「感じ、考え、試みる」授業を創造すること(新野貴則・山梨大学教授考案)により、学びの実感につながる。

子供たちが自ら「感じ、考え、試みる」という学びの構造をつくることで、「発見」や「感動」の姿が表れてきます。その一つの「発見」と「感動」が原動力となり、その積み重ねが、実感を伴いながら、かけがえのないその子供の「学び」となり、その子供自身の創造力を育てていくだろうと考えます。

記念講演

講師 奥村 高明 様

元 文部科学省初等中等教育局教科調査官、元 日本体育大学教授
尚絅学院大学客員研究員 武蔵野美術大学ソーシャルクリエイティブ研究所研究員
神奈川大学「ひらめき鑑賞学」非常勤講師

演題 「図工・美術の意味～世界の本質に向かう芸術教育の願い」



大会全体 教科調査官 講話

文部科学省 初等中等教育局 教育課程課 教科調査官
文化庁参事官(芸術文化担当)付 教科調査官
国立教育政策研究所 教育課程研究センター研究開発部 教育課程調査官



小林 恭代 様

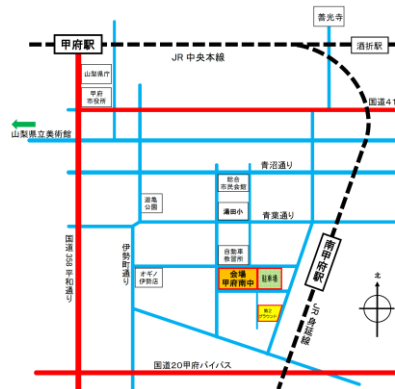


平田 朝一 様

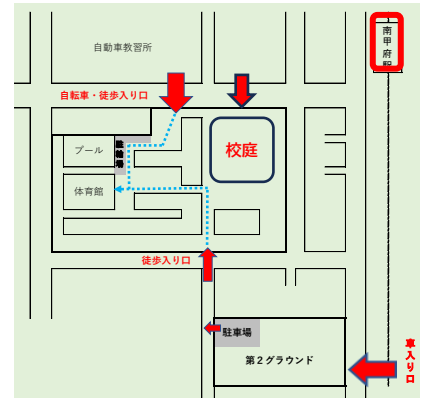
ACCESS



JR 身延線南甲府駅下車、徒歩4分
JR 甲府駅から車で10分



会場案内 甲府市立南中学校 400-0864 山梨県甲府市湯田 2-21-24
◇校庭に駐車できますが、雨天時・状態不良時は第2グラウンドをご利用ください。



●申し込み等について

- 1 右の QR コードから参加申し込みをしてください。申し込みフォームに所属・氏名・連絡メールアドレス等の入力と、分科会の選択をしてください。申し込み期間は、9月8日(月)から10月6日(月)です。
- 2 分科会は、会場の都合で人数調整する場合があります。必ず第3希望まで入力してください。参加する分科会の決定は、登録いただいたメールアドレス宛にメールでお伝えします。(10月下旬予定)
- 3 大会参加費は、1,000 円です。大会参加費には、大会紀要代が含まれます。また、参加費は、銀行振込にて入金してください。入金の期限は9月30日(火)です。

口座は、山梨中央銀行長坂支店 店番453 口座番号650648 名義 2025年関プロ山梨大会実行委員会
ニセソニジウゴネンカンプロヤマナシタイカイジッコウインカイ

- 4 大会紀要及び領収書は、当日受付で配付いたします。また、可能な限り上履きの持参をお願いします。
- 5 お弁当の斡旋はありません。昼食を持参する場合、体育館での飲食が可能です。ごみの持ち帰りにご協力ください。
- 6 大会参加後、参加者アンケートへのご協力をお願いします。受付時にアンケートフォームの QR コードを配付いたします。



関東甲信越静地区造形教育研究大会

2025 山梨大会実行委員長 深澤 勉(甲府市立南中学校)
事務局 五味一也(韮崎市立韮崎西中学校)
E-mail: sanzouken@gmail.com

関プロ造形山梨大会 2025

<https://obata162.wixstudio.com/art-education-2025>